

防災教育  
「指導の手引き」

中学校編

山形県教育委員会



## まえがき

山形県では、近年大きな自然災害がなかったことにより、これまでの防災教育は、避難訓練を中心としたものでした。

第5次山形県教育振興計画後期プラン（平成23年3月）では、子どもたちの安全を確保するための主な取組の中で「危険予測学習の実施などの安全教育の実施」が謳われており、また平成23年3月11日に発生した東日本大震災をうけて、県教育委員会では、児童生徒に、自らの命を守るために最善な行動を尽くそうと「主体的に行動する態度」や困っている人を助け、協力し合うなど「ともに助け合う姿勢」である「自助・公助」の資質を養うことが必要と考えております。また、災害に対する正しい知識を身につけ、習得した知識に基づいて的確に判断し、行動できるよう「自他の命を尊重する」姿勢を身につけさせる教育をすすめるため、この「防災教育指導の手引き」を作成しました。

各学校における防災教育を推し進めるための一助として役立てられることを念願しております。

## 1 防災教育推進の視点

### (1) 自らの危険を予測し、回避する能力を高める防災教育の推進

#### ① 周りの状況に応じ、自らの命を守り抜くため「主体的に行動する態度」の育成

- 想定を超えた自然災害から児童生徒が主体性を持って自らの命を守り抜くための「主体的に行動する態度」を身に付けさせる。
- 災害発生時に、自ら危険を予測し、回避するためには、自然災害に関する知識を身に付けるとともに、習得した知識に基づいて的確に判断し、迅速な行動がとれる能力を身につけさせる。

#### ② 防災教育の基礎となる基本的な知識に関する指導充実

- 小・中・高等学校等の学習指導要領の総則において、学校の教育活動全体を通じて安全教育に取り組むとされている。特に理科や社会、保健体育等の各教科において地震の要因や、災害発生時の関係機関の役割、応急手当等の指導内容を含め、自然災害に関する正しい知識を習得させる。
- 児童生徒の発達段階に応じて危険を回避する能力と結びつけながら指導内容の体系化を図り、教科等の内容や特別活動等との横断的・総合的な関連づけを工夫して、各学校で作成する学校安全計画の中に位置づける。また、普段生活する地域の特性を踏まえ、教材等を開発、活用する。
- 行動につなげるためには、児童生徒が知識を主体的に学び、体験的な活動を通して、自ら気づきを得ることを大切にする。

### (2) 支援者としての視点から、安全で安心な社会づくりに貢献する意識を高める防災教育の推進

- ボランティア活動は、他人を思いやる心、互いを認め合い共に生きていく態度、自他の生命や人権を尊重する精神などに支えられ、よりよい社会づくりに主体的かつ積極的に参加・参画していく有効な手段としてとらえる。
- 防災教育において、災害対応、社会背景を学ぶことに加え、過去の災害を語り継いでいくことで、命の大切さや助け合いのすばらしさなどを実感として感じさせる。

## 2 防災教育の目標

- (1) 防災教育推進の視点を踏まえ総合的・体系的な防災教育を行うことにより、一人一人の防災対応能力の向上を図り、防災に貢献できる多様な人材を育成することを目標とします。

- |   |   |
|---|---|
| ① | 災害発生時の危険を予測し、児童生徒の発達段階に応じた的確な判断を行い、自らの安全を確保するために行動できるようにする。                 |
| ② | 災害発生時及び発生後に、進んで他の人々や集団、地域の安全に役立つことができるようにする。                                |
| ③ | 地域に応じた教材の活用や地域と連携した防災訓練等の実施により、災害発生のメカニズムや過去の災害、地域の自然環境や防災体制について理解できるようにする。 |

- (2) 児童生徒の発達段階に応じたねらい

### ① 小学校

低学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害の様々な危険について知り、災害発生時には、教員や保護者等近くの大人の指示に従うなど適切な行動ができるようにする。</li> <li>・災害発生時には、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つことができるようにする。</li> <li>・地域の災害に関心をもつことができるようにする。</li> </ul>
中学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害の様々な危険を予測させ、災害発生時には、教員や保護者等近くの大人の指示に従うとともに、自らも安全な行動ができるようにする。</li> <li>・災害発生時には、家族や友達等みんなと助け合うことができるようにする。</li> <li>・地域の災害の種類が分かり、そのための防災体制が組織されていることを理解できるようにする。</li> </ul>
高学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害の様々な危険を予測させ、災害発生時には、自ら安全な行動ができるようにする。</li> <li>・災害発生時には、家族や友達、周囲の人々と助け合うとともに、ボランティア活動に参加できるようにする。</li> <li>・地域の災害の特性や防災体制の仕組みについてのあらましが理解できるようにする。</li> </ul>

### ② 中学校

<ul style="list-style-type: none"> <li>・日ごろから災害に対する備えを行い、災害発生時には的確な判断により、自らの安全を確保するための行動ができるようにする。</li> <li>・災害発生時には、自らの安全を守るだけでなく、ボランティア活動等に積極的に参加し、地域の人々の安全に役立つことができるようにする。</li> <li>・災害発生のメカニズム、地域の災害の特性や防災体制について理解できるようにする。</li> </ul>
--

### ③ 高等学校

<ul style="list-style-type: none"> <li>・日ごろから災害に対する備えを行い、災害発生時には状況に応じた的確な判断により、自らの安全を確保するための行動ができるようにする。</li> <li>・災害発生時には、自らの安全を守るだけでなく、防災活動やボランティア活動等に積極的に参加し、地域の人々の安全確保に貢献できるようにする。</li> <li>・災害発生のメカニズム、地域の災害の特性や防災体制について理解できるようにする。</li> </ul>
---